

## 相模原障害者施設殺傷事件から5年に寄せて

相模原市緑区の知的障害者福祉施設「津久井やまゆり園」で起きた殺傷事件から5年が経ちました。あの衝撃は今も私たちの心から消えることはありません。

あらためて、犠牲となられたかけがえのない19名の利用者の皆様お一人お一人のご冥福をお祈りいたしますとともに最愛の人を失ったご家族、スタッフはじめ関係者の皆様にお悔やみ申し上げます。

あまりにも悲しい事件について多くのところで取り上げられ、特に犯人の思想や病理等、個人に視点を当てた検証はされていますが、知的障害のある方々の暮らしの場としての入所施設の環境や対人関係の在り方、地域社会との関係等を含めて広い意味での環境の問題としてとらえるソーシャルワークの視点からの検証が求められていると思います。

障害の重い人たちほど地域の中で多くの方の見守りや支援をうけながら配慮された生活を送るべきだと思います。全国でも先駆的である神奈川県知的障害者施設団体連合会の「あおぞら宣言」をより具体化されることを期待しています。

7月20日には事件から5年となるのを前に再建された施設で追悼式が行われ、新たに設置された慰霊碑が公開されました。

コロナ禍の中で今年はないませんが、私自身の中で事件を風化させないように、毎年津久井やまゆり園の現地に伺い追悼してまいりました。

新たな体制での歩みが始まっていると伺いましたが、利用されている方々の権利擁護と意思決定が一層優先されることを期待したいと思います。

あらためて、犠牲になられた方の想いを受け止め本会として障害のある方の個人の尊厳が守られる社会となるよう力を尽くすこととお誓いいたします。

令和3年7月26日

公益財団法人 日本知的障害者福祉協会  
会長 井上 博